

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム <http://www.cleanaid.jp/>

この度の東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
春のクリーンエイド、その他イベント等の開催につきましては、ホームページにて随時更新しておりますのでご確認ください。

Contents

- P1 荒川クリーンエイド2011が始まりました！
【参加者募集】キックオフ説明会のご案内
- P2 荒川クリーンエイド2010報告集 紹介/荒川クリーンエイド・フォーラム2011年度の目標/主な行事(案)
- P3 ゴミ調査データを社会に発信/生物多様性の保全
- P4 春の荒川クリーンエイド 各地で開催中！

- P5 秋のクリーンエイド会場からの報告
- P6 荒川流域再生シンポジウム 報告/荒川いきもの四方山話
- P7 荒川クリーンエイド・フォーラム報告・連絡会 報告
/環境学習 報告/助成金採択 報告
- P8 記念講演・定期総会のご案内/24時間テレビ「荒川
クリーンエイドアクション2011」参加者募集/身近な水環境の
全国一斉調査 参加者募集/寄付

荒川クリーンエイド2011

今年も一層大きな活動へと拓げます！

荒川クリーンエイド2011がスタートしました！今年もゴミ回収を中心に、ゴミの発生源対策、さらに積極的な自然回復を目指し活動を継続させてまいります。今年もより大きな活動へと拓げていきたいと考えています。一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

●クリーンエイド 実施団体募集●

荒川クリーンエイドは、グループや団体で主体的に実施いたしています。実施は年間を通じて募集しています。市民グループ、企業、学校など仲間を募ってぜひ実施ください。

※はじめて実施される場合は、事務局までお問合せください。

※春(4/23)または秋(9/11)の説明会にご参加ください。

●クリーンエイド会場 参加者募集●

各地で予定されている荒川クリーンエイドでは、どなたでも参加できる会場が多数あります。お一人でもお友達やご家族でお気軽にご参加ください。(P.4参照)

※10人以上で参加されたい場合は、実施団体または当フォーラム事務局までお問合せください。



荒川クリーンエイド2011 4月23日(土)

キックオフ説明会 参加者募集！

荒川クリーンエイドの拡がりを受け、2011年度は、これまでの「実施説明会」から、「キックオフ説明会」へと名称を変更して、さらに充実した説明会を企画するものです。

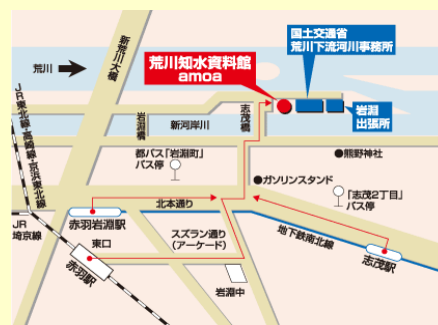
「荒川のゴミを調査することで、都市のゴミの発生を抑制する」ことを念頭に、そのための荒川クリーンエイドの実施手順を皆さまと共有します。

これまでは、参加されるキャプテンを主対象としてきましたが、今回のキックオフ説明会では一般の皆様の参加を歓迎いたしますので、ご関心のある方は是非お申込みください。

■日時：2011年4月23日(土) 13:30～17:00

※15:50から1時間程度、荒川河川敷で体験会を実施します。初めての方は是非ご参加ください。

■会場：荒川知水資料館(amoa) アモアホール



★アクセス★

JR埼京線・京浜東北線・高崎線 赤羽駅東口より徒歩約20分
地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩約15分

■内容：荒川クリーンエイドの主旨・仕組み、荒川クリーンエイドの実施手順、安全管理、荒川クリーンエイド・フォーラムのご紹介など

■申込み：氏名、団体名、連絡先、住所(※体験会参加者のみ保険適用につき必要)を明記のうえ、お申込みください。

FAX: 03-3654-7256 / E-mail: renraku@cleanaid.jp

荒川クリーンエイド2010報告集 ～2010 Annual Report～

ペットボトル調査2010の結果など掲載！

「荒川クリーンエイド2010報告集」が出来上がりました！
荒川のゴミの最新データや写真、クリーンエイド会場の様子、そして、生物多様性の保全活動、水質調査、流域連携、環境学習支援など荒川クリーンエイド・フォーラムの一年の成果が見える内容となっています。ぜひご一読ください。

【「荒川クリーンエイド2010報告集」レビュー】

■ 荒川のゴミの集積現場から (P14)

「荒川のゴミを考える」では、写真でゴミの現状をお伝えしています。

荒川下流では、注射器が急増。薬物、医療用の可能性が考えられています。↓



実際には漂着したと思われるゴミが… (足立区) ↑

※「荒川クリーンエイド2010報告集」をご希望の方はお問合せください。

■ 2010もペットボトルがワースト1位 (P9)

【荒川のゴミ2010ランキング・ワースト5】



■ 水とお茶で飲料ペットボトルゴミの5割を超える！ (P13)

2010年に初めて行ったペットボトル調査によれば、飲料ペットボトルの5割以上が水とお茶であることが判明。マイボトルを持てばペットボトルの使用を大幅に減らすことができると考えられます。

【荒川の飲料ペットボトルゴミ vs 生産量 (構成比) の比較】



■ 荒川の調査結果が全国の生産量とほぼ一致

また、上のグラフが示すように、全国のペットボトルの生産量 (種類別構成比) と荒川のペットボトルのゴミの比率はほぼ一致していることがわかります。

荒川クリーンエイド・フォーラム

2011年度の目標

これまでの実績の上に、大きく発展します！

荒川クリーンエイドの活動が1994年に開始されて以来、2011年で18年目を迎えます。また、現NPOの前身である任意団体荒川クリーンエイド・フォーラムが発足してから、15周年という記念すべき年であります。

過去15年以上の成果は、セクター間パートナーシップの実現、参加者の環境意識の高揚、これを通じた河川管理への市民権の確立であったと自負しています。

これらの成果を踏まえ、今後もこれまでの活動を継続することに加え、年間参加者1万人のさらに上を目指します。また、調査結果を社会に発信することによるゴミの発生抑制策や自然を回復することによるクリーンエイドを創っていきたいと想います。

次なるステップ

(目指すもの)

- 『循環型社会』の構築
- 流域全体の『生物多様性』を回復
- 『里川』の文化の創造

2011年度の目標

- ゴミの発生抑制策への働きかけ
- 年間参加者1万人の輪を更に拡大
- 生物多様性の保全事業を始動

過去15年以上の取り組み

- 市民団体、学校、自治体、企業、国とのネットワーク形成
- 年間参加者1万人の環境意識の高揚
- 河川管理への市民権の基盤確立

荒川クリーンエイド・フォーラム 2011年度の 主な行事 (案)

荒川クリーンエイドの運営

4/23 キック
オフ説明会

9/10 秋の
説明会

クリーンエイド月間

春のクリーンエイド

秋のクリーンエイド

春のクリーンエイド

4月 6月 8月 10月 12月 2月

生物多様性の保全
荒川エコキッズ事業
流域連携など

5/14
定期
総会

6/5身近な
水環境の全
国一斉調査

7/31なつ
やすみ水
辺の楽校

8/上旬
流域シ
ンポジウム

9/3
荒川源流
エコツアー

9/17
ワンドで
遊ぼう

10月
生き物
調査

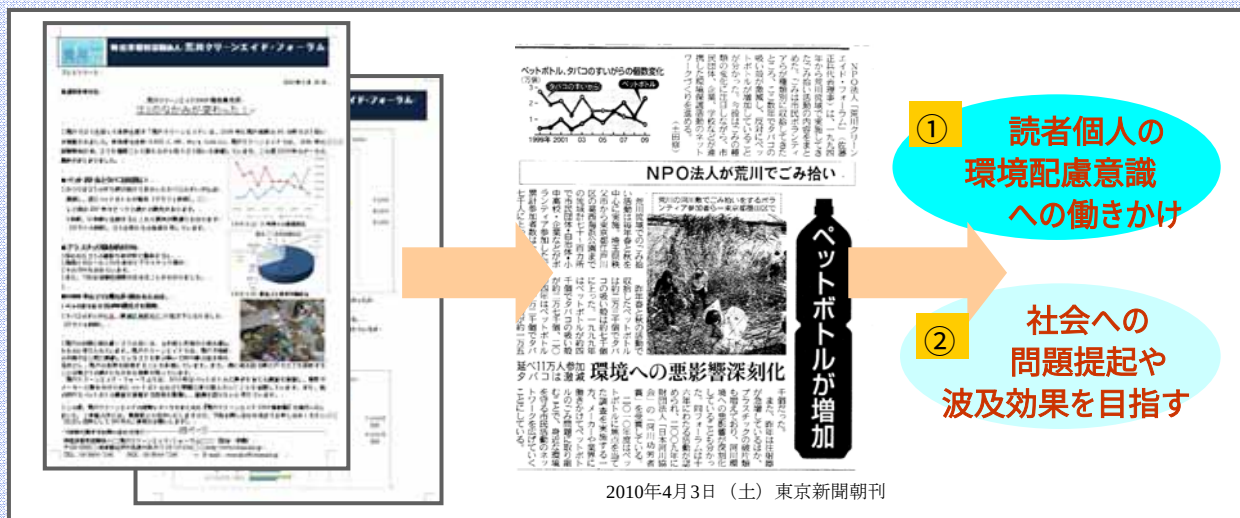
2/17
報告・
連絡会

ゴミ調査データを社会に発信する ～循環型社会を目指す漂着ゴミの発生抑制策～

2010年に実施した「荒川ペットボトル大捜索2010」では、荒川の漂着ゴミの凡そ10%が水・お茶などに使用されるペットボトルゴミであることが判明しました。こうした事実をターゲット目標として、「川・海へと漂着して行く社会のゴミを無くすこと（発生抑制）」を実現させるため、各年度において、最もゴミの量が多いゴミの区分（特定テーマ）に照準を合わせて、具体的な発生策の模索と社会への問題提起を図ります。2011年は、そのひとつの対策として、積極的にプレスリリースを作成するなど、テレビ、新聞などのメディアを通じた情報発信を念頭に置く予定です。

併せて、排出元となっている企業などに対しても、「みんなが協力して、ひとつひとつ、できることを考える」をモットーに訴えかけていきたいと思っています。

情報発信イメージ（例）新聞を通じて行う場合



新規事業 生物多様性の保全

昨年10月に名古屋で開かれた生物多様性会議COP10は皆様の記憶にも新しいものと存じます。こういった機運やこれまでの自然回復の問題意識をさらに具体化するために、2011年度に、2つのプロジェクトを始動します。

絶滅危惧種復活プロジェクト

絶滅危惧種等を守りながら、荒川本来の豊かな自然環境を再構築するプロジェクトです。

具体的には、汽水域のヨシ原等に生息する絶滅危惧Ⅰ類『ヒヌマイトンボ』の保護・復活に焦点を当て、潜在的な荒川本来の環境保全を念頭に置きます。かつて荒川流域に多数生息していたヒヌマイトンボの保全に焦点を置いた保全・復活プロジェクトを流域複数拠点で実施する予定です。

【ヒヌマイトンボ】



大きさは体長23～28mm前後と小型。ヒヌマイトンボは、成虫も幼虫も汽水域のヨシ原に生息

里川創造プロジェクト

地域住民等が利用できる里川の思想を置いた自然環境の創造を念頭に、地域住民等を巻き込んだ環境学習、河川敷の植生のモニタリングを行うプロジェクトです。

干潟やヨシ原の生き物の観察などを通じた自然環境学習の場づくりを推進し、その過程で、外来植物についての理解やヨシ原の役割についての学びを促します。

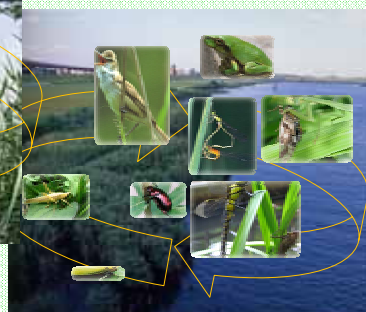
活動場所は、東大島駅徒歩5分程度の小松川自然（江戸川区）を主な活動地点とします。2010年度は、秋からスタートし、計7回の活動を行いました。今年は年間を通じて活動していく予定です。



【活動の様子】



【活動を通して守るべき生態系】



春の荒川クリーンエイド 各地で開催中！

最新クリーンエイド会場情報は
<http://www.cleanaid.jp/>



春の荒川クリーンエイドが続々と開催されています。これから開催される会場は以下の通りです。ぜひ足をお運びください！
 また、荒川クリーンエイドは年間を通じて各地で開催されています。お気軽に事務局までお問合せください。

■一般参加者を募集している会場（どなたでもご参加いただけます）

会場名/No	実施 市区名	実施日	曜日	時間	主催団体名	雨天時	他のイベント	参加するには
①荒川運動公園 釣堀池周辺	川口市	4月24日	日	10:00～ 14:00	荒川夢クラブ	中止	春の自然 観察会	事前申込不要 9:30から現地で受付ます
②河原町原っぱ （芝川水門上流）	川口市	4月23日	土	10:00～ 12:00	かわぐちッ子荒川クラブ、 （財）埼玉県生態系保護協会 川口支部	中止	春の野草を 食べてみよう	事前申込不要 9:50から現地で受付ます
③板橋生物生態園 周辺	板橋区	4月17日	日	10:00～ 14:00	いたばし野鳥クラブ、 いたばし水辺を楽しむ会、 センスオブアース	中止		事前申込不要 9:45から現地で受付ます
④岩淵赤水門周辺	北区	4月23日	土	15:50～ 16:40	NPO法人荒川クリーンエイド・ フォーラム	雨天実施	荒川クリーンエイド 実施説明	事前にTEL,FAX,Eメールで申 込下さい （申込先はP8連絡先）
⑤岩淵赤水門、 青水門広場周辺	北区	6月26日	日	10:00～ 14:00	ボーイスカウト東京連盟 城北地区北11団	雨天実施	野外ゲーム 植物観察 野外料理	事前申込不要 9:50から現地で受付ます
⑥四ツ木橋上流 （八広駅側）	墨田区	5月14日	土	10:00～ 12:00	（株）エックスワン	中止		事前申込不要 9:30から現地で受付ます
⑦四ツ木橋周辺 （四ツ木駅側）	葛飾区	4月16日	土	9:30～ 11:00	あらかわミズガキ隊、葛飾区	中止	生物調査	事前申込不要 9:00から現地で受付ます
⑧JR総武線下流 （平井駅側）	江戸川区	4月9日	土	10:00～ 14:30	下平井水辺の楽校	6/5に延期	干潟遊び 投網など	事前申込不要 9:45から現地で受付ます
⑨船堀橋～荒川 ロックゲート （東大島駅側）	江戸川区	5月29日	日	9:00～ 12:30	「24時間テレビ」チャリ ティー委員会、NPO法人荒川 クリーンエイド・フォーラム	中止	自然環境教室	事前に葉書にて申込下さい 詳細はP7参照
⑩葛西海浜公園 西なぎさ	江戸川区	4/16 5/21 6/18 7/16 8/20	土	9:30～ 11:00	西なぎさ発：東京里海エイド	翌日曜日、 ただし5/21 は雨天中止		事前にEメールで申込下さい （Tokyo-satoumi-aid@dexte- k.com）
⑪葛西海浜公園 東なぎさ	江戸川区	6月25日	土	9:00～ 12:30	NPO法人えどがわエッセンター 自然共生社会づくり委員会	延期 （延期日未定）	自然観察会	事前に電話、FAX、Eメールで 申込下さい（03-5659-1651）

①～⑪は会場No.



■その他の主催団体（一般参加はできません）

一般参加者の募集はしていませんが、以下の団体も開催を予定しています。

（株）ガリバーインターナショナル、北区水辺の会・（株）エクシング・東京家政大学、小松川信用金庫、（株）新生銀行、
 情報労連埼玉県協議会・NTT労組埼玉グループ連絡協議会、東海東京証券（株）、日本アイ・ピー・エム（株）、
 フィリップモリスジャパン（株）、ブルームバーグL.P.（五十音順）

秋の
クリーンエイド
会場から

一人ひとりがちょっとした心づかい

NEW

小松川信用金庫 早川 佳江 さん

2010年11月6日(土)に荒川土手小松川橋付近において、荒川クリーンエイド(ボランティア活動)を実施いたしました。土手や河川敷にはゴミはほとんど見当たらないのですが、川辺に近づく草に隠れてゴミがたくさんあるのにはビックリしました。70人を超える役職員が参加し、グループに分かれトンボを片手にゴミを数えながら拾い1時間程でゴミ袋の数は、ペットボトル27袋・燃えやすいゴミ49袋・燃やさないゴミ19袋・合計95袋ものゴミが集まりました。中には危険な注射器やプロパンガスなど、何故こんなところに?と思うゴミまでありました。

また、荒川河川敷は外来植物(アレチウリ)が増えていて、生き物が育ちにくくなっていると荒川クリーンエイドの佐藤代表から説明を受け、外来植物の駆除を行いました。ゴミ拾いや外来植物の駆除に夢中になり、どんどん川辺に近づく役職員の姿に、滑るのでは?大丈夫なのかな?と不安にもなりましたが、けが人も無く無事終了できました。最後に役職員全員で達成感を味わいながら笑顔で集合写真を撮り終えました。

今回はじめて荒川グリーンエイドを実施し、ゴミへの『ちょっとした心づかい』の大切さを改めて再認識させられました。

そのちょっとした心づかいが、更に広まり人から人へ伝わっていったら環境保護に一層貢献できるのではないかと。今後も協力しあい参加に声掛け合っていきたいと思います。



小松川信金の皆様には、まさに地元の「小松川橋」のたもとでクリーンエイドを実施頂きありがとうございました。水際にアレチウリが繁茂しており、鋭いとげで人が近づけない状況だったので、一緒にアレチウリの除草をさせて頂きました。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

(荒川クリーンエイド事務局より)

秋の
クリーンエイド
会場から

建築を本業とする立場から取り組む 環境保全

NEW

一般社団法人建築ビジョン 斉藤 誠二 さん

10月23日(土)、一般社団法人建築ビジョンは墨田区の京成八広駅近くの河川敷で社会貢献活動の一環として荒川クリーンエイドに参加させて頂きました。本業が建築を業として携わる立場から、日ごろたくさんの廃棄物を出す側です。この機会に環境保全の意識を更に深めることと、地域社会や当日参加頂きました様々な団体の方々とのコミュニケーションを図ることを目的とするものです。

まず、ゴミ拾いの場所を確認しグループを組んで作業を実

施しました。それぞれのグループが行う種類ごとの集計の仕方を情報交換しながら、いかに効率良くゴミ拾いが出来るかで知恵を出し合った結果、一時間ほどの間に450のゴミ袋を34名で80袋分のゴミを拾うことが出来ました。その内30袋以上がペットボトルで、参加者からは『今日のゴミ拾いという機会が無かったら、この捨てられたペットボトルをはじめ、ほとんどのゴミは回収されず放置された結果、この荒川はどうなるの?』といった意見や、『自分さえ良ければいい』といった思いやりの無い行動が環境破壊につながっている』といった現実的な意見が多く寄せられました。

環境問題については今回の貴重な体験を通じて毎日の生活のちょっとした心がけが大事なんだと改めて気づく事が出来た良い機会でした。

このような地道な活動を続けてこられた荒川クリーンエイド・フォーラムの皆さま、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

実施会場は、ヒメマイトトンボの保護地としてヨシ原になっているところですが、潮の干満に応じて川の水が出入りする度にゴミも流れ込み、大量にたまっていました。地元の理解ある団体の参加を頂き、ありがたく心強い限りです。

(荒川クリーンエイド事務局より)



2/13 荒川流域再生シンポジウム 報告

魚の行き交う川作り 川の生産力復活に向けて 活発に議論

代表理事 佐藤 正兵

第15回荒川流域再生シンポジウムは、2月13日、日高市生涯学習センターにおいて約80名の参加で行われました。

今回のテーマ①「川の生産力復活に向けて」と②「水質調査を生かす取り組み」についてそれぞれ報告が行われ、引続き「市民による『公』とは？—生きものの“都合”人の“都合”というテーマで「みずかけ“サ”論」が行われました。

テーマ①としては、「2010年度アユ遡上調査の結果」について金澤光氏（埼玉県環境科学国際センター自然環境担当）から、アユが遡上できない入間川の菅間堰の上流に2009年から標識アユを放流してどこまで遡上可能かを調べ、2010年は遡上できなかった入間川の上流と越辺川・都幾川で放流し、調査した報告がなされました。

この2年間の活動を通じて、埼玉県内では魚の行き交う川にしようという機運が高まり、最大の「難所」とされた菅間堰の改修と魚道設置の工事が具体化したほか、各地の農

業用堰の運用や漁協の協力などが得やすくなっていることが報告され、2011年は更にその上流で調査する方針が提起され、4月11日から指標アユの放流が始められます。

次に「埼玉県水辺再生100プラン～南小畔川での取り組み」と題して鈴木勝浩氏（埼玉県川越県土整備事務所河川担当）から報告がなされました。

テーマ②としては、渡邊勇氏（霞川くらしの楽校会長）から「EC調査の意義について」主に2010年度多摩川での水質調査事例を基に報告がされました。（EC：電気伝導度）

後半の「みずかけ“サ”論」は、荒川流域ネットワーク代表 恵小百合氏の司会で進められ、「川の改修と管理は人が川に出て親しむことが前提」「川のサポーターが120団体あるが、川の守り人＝清掃から自然管理へ向うことが課題」など様々な意見が出され、市民による公的活動への参加が待たれる議論となりました。

自伐林家とNPOで 小規模林業活性化 鹿対策にも

【秩父市緑の分権推進事業 市民報告会】が3月6日、秩父市において開催された。秩父市が実施した事業の報告会の記念講演で「C材で晩酌を！副業形自伐林家のススメ」と題して、NPO法人土佐の森救援隊事務局長中嶋健造氏が講演をされた。同NPOは、山林に残された間伐材を集めるプロジェクトを実施し、地域興しに貢献している。大型機械導入

による集約化という国の政策の逆の発想で、自らの所有林を自らで伐採する「自伐林家」とNPOによる小規模分散型林業を育成し広める活動を展開。自伐林家が増えれば、猟師も増えて鹿の食害も減り、伐採後の植林も可能になるという「一石数鳥」の成果が期待され、全国各地に同様の活動が広がっている。



荒川いきもの四方山話

荒川に行くと見られる動植物、思わず荒川に行ってみたくなる生き物たちの話題を毎号お届けしています。

■昆虫たちの越冬大作戦！

冬の河川敷は、立ち枯れのヨシが目立ち、水面にはカモやユリカモメが浮いている。いろいろな方に「冬の河川敷の生き物を想像してください」と質問すると、こんな答えが返ってきます。昆虫は？と聞くと、そういえばいないなあ～と考え込んでしまいますよね。ところがどっこい！昆虫はしっかりと越冬大作戦をしているのです。

何らかの形で越冬しなければ、昆虫たちは死滅してしまいますよね。種類によって越冬の仕方は違います。成虫越冬、さなぎやまゆでの越冬、幼虫越冬、卵での越冬があります。越冬態を少しご紹介しますね。



涙を流しているような模様のツチイナゴ

最近個体数が増えているバッタ類のツチイナ

ゴや、キリギリス類のクビキリギリスは、立ち枯れしている草むらで成虫越冬しています。テントウムシやカメムシ、アブラムシの仲間は、おしくらまんじゅうをするように、成虫で集団越冬をしています。チョウ類では、アゲハチョウ類はさなぎ越冬が多く、シジミチョウ類は幼虫越冬。モンシロチョウは卵だが幼虫越冬も確認されています。キチョウは成虫越冬。キチョウの成虫越冬態は、凍蝶（いてちょう）と呼ばれています。セミは越冬というよりも7年間の年越しですね。

みなさん昆虫になりきって考えてください。一本の木があります。あなたが昆虫だったら、越冬する場所は陽の当たる場所？陽の当たらない場所？陽の当たる場所と答えたあなたは残念！春を迎えられません！というのは、昆虫は変温動物です。陽が当たると体温が変動するのでエネルギーを使い、エサを摂取できないこの時季には死んでしまう可能性が高いのです。

のんびり過ごしているかに見える昆虫たちですが、厳しい野生生活をしているのです！（自然案内人 橋本 浩基）

2/16

荒川クリーンエイド・フォーラム報告・連絡会 報告 2011年に向けての意見交換

2月16日に、北とぴあ(北区)にて、報告・連絡会を開催しました。今年は、はじめての試みとして2010年の報告会と2011年に向けた連絡会を同時に開催しました。

■第一部：報告会

荒川クリーンエイド2010の実施概況報告に続き、実施された3団体より写真などと共にクリーンエイド実施の様子をご報告いただきました。

■第二部：連絡会

事務局より2011年に考えている「ゴミ発生抑制策」や「生物多様性の保全活動」の計画案を紹介し、皆さま方よりご意見をいただきました。

荒川クリーンエイドは地域密着で活動してきたことが強み

であるので、地に足を付けた活動を望まれることの声を頂戴したり、外来植物の刈り方などについて議論されました。

実施団体の皆さまと情報共有をし、また貴重なご意見をたくさん頂戴して、活発で有意義な会となりました。



江戸川区立平井東小学校 報告 はじめて1～6年を通した 荒川学習にチャレンジ！

環境学習

平井東小学校では「特色ある教育活動」の一つとして、荒川学習に取り組んでいます。去年までは4年生だけの活動でしたが、荒川に近いという学校の立地条件を生かし、多くの子供たちが自然を身近に体感できるように、2010年度から全学年で取り組むことになりました。荒川クリーンエイドの橋本さん、星野さんのアドバイスを頂きながら、学年の発達段階に応じた学習内容を実践しました。

子供たちは、荒川に生息している植物や昆虫、鳥などを目を輝かせて観察しました。夏には、干潟やヨシ原、池でクロベンケイガニやザリガニなどを捕まえ、大切にケースに入れて持ち帰る姿が見られました。子供たちがいきいきと活動する様子、五感を使い学ぶ様子は、本当に楽しそうでした。活動を終えて帰ってきた子供たちは「楽しかった！」「今度の荒川学習はいつ？」といつも笑顔一杯でした。

2010度の実践を踏まえ、2011年度はさらに一人一人の学習が深まるよう、年間の学習計画をしっかりと立てていきたいと思っています。また、低・中・高学年としての系統性を考え、様々なテーマで荒川学習に取り組んでいけたら…



…と思っています。

(幾島美香先生)

助成金採択 報告

2011年度も助成金を受けて活動します！

■Panasonic NPO サポートファンド

ゴミ調査データを用いた社会発信のモデル的实践

NPOの基盤強化を行うために使用される助成金です。過去15年以上に亘り荒川クリーンエイドを展開するなかで、参加者の拡大には大きな成果を残してきました。しかし、参加者から寄せられたゴミの調査結果を社会発信し、根源となるゴミの発生抑制に十分に寄与できていなかったという課題があります。本助成金は、荒川クリーンエイドを、ゴミ拾いから社会発信をひとつの業務とした場合、後者の部分を強化するために、必要なスキルアップを図るために採択されました。

＜審査員からの推薦理由＞

本団体が1997年の設立以降、荒川流域でのクリーンアップ活動で蓄積してきた経験知とごみに関するデータは、河川環境保全や市民活動の変遷を理解する上で大変貴重なものである。2010年度より、企業での勤務経験のある若い事務局長が就任するなど、理事会・事務局ともに世代交代を図り、組織を変革しようとする覚悟から本助成の実効性が高いとの評価が得られて採択に至った。

■2011 JT 青少年育成に関するNPO助成事業

荒川キッズ育成事業～生物多様性プロジェクト

荒川下流の小中学生を対象に、自然体験・環境学習活動を行います。当フォーラムスタッフと外部講師の協働により企画・準備し、当日は、近隣の自然体運営団体メンバー、荒川クリーンエイド実施団体メンバー、子どもの親、学生等にも協力を得ます。活動場所は、北区・子どもの水辺、下平井水辺の楽校等荒川下流の自然体、及び河口の葛西臨海公園等を予定しています。

活動内容は、自然観察、動植物調べ、ゴミ調べ、体験型アクティビティやワークショップ、荒川の植物を使っの遊び・工作、ボートに乗っての荒川体験等さまざまです。これらの活動を通して、多くの子どもたちの環境意識に働きかけることを事業の目標としています。

尾田栄章氏による記念講演

河川法改正から15年目！一緒に考えよう！

「河川管理に携わるNPOは何を目指すべきか」

5月14日(土) 15:00～16:00

荒川知水資料館 アモアホールにて

「河川法改正から15年の節目が近づいています。この間にさまざまな取り組みが展開されてきましたが、今までの流れを大きく変えるまでには至っていません。新しい河川法は、うまく使えば、単に河川管理やインフラ整備の手法だけでなく、世の中の仕組みそのものを変える力を持ちうるに違いありません。そんな思いを持って一緒に考えましょう。皆さんとの議論とそこから新たに生まれる行動が楽しみです。」(尾田 栄章)

★尾田 栄章 氏 プロフィール★

昭和16年生まれ、奈良県出身。

1998年、建設省を退職。河川局長として、河川管理の目的に「河川環境の整備と保全」を加えること、計画造りの段階から「関係住民」の参加を求めること等の河川法改正を主導する。

現在は、「国連事務総長：水と衛生に関する諮問委員会」委員を務めるなど国際的なネットワークを通じて世界の水問題の解決に向けて取り組むと共に、ヒートアイランド現象解決に市民の発想を取り入れた「打ち水大作戦」、蓋をされた渋谷川の再生を目指す「渋谷川ルネッサンス」など、幅広い活動を展開している。

※記念講演、総会の傍聴ともに、①ご所属、②お名前を事務局までご連絡ください。

特定非営利活動法人

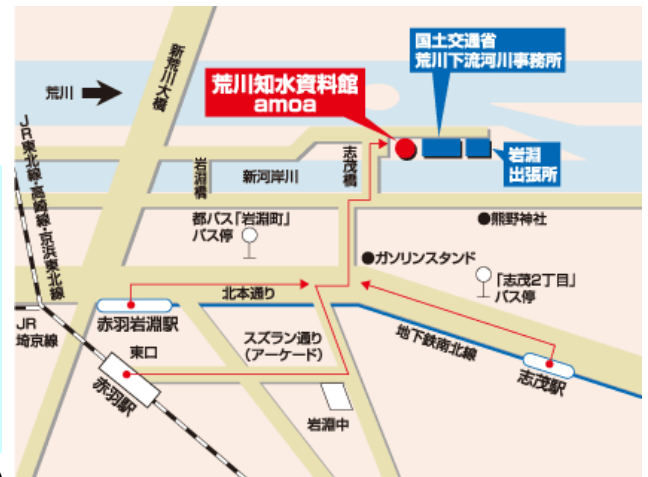
荒川クリーンエイド・フォーラム

第11回 定期総会のご案内

日 時 5月14日(土) 13:30～14:30

会 場 荒川知水資料館 アモアホール

※正会員・賛助会員の皆様には別途案内状をお送りします。どなたでも傍聴できます。



24時間テレビ 参加者募集！

4/8受付開始！
5/6〆切

「荒川クリーンエイドアクション2011」

今年も「24時間テレビ」チャリティー委員会と荒川クリーンエイド・フォーラムとの共催で荒川での清掃活動を実施します！清掃後には、自然環境教室も開催しますので、ふるってご参加下さい！

【日時】2011年5月29日(日)9:00～12:30予定【場所】荒川河川敷

【定員】300名(関東地区在住の小学生以上の方。小・中学生は保護者同伴) ※先着順・定員になり次第〆切

【申込方法】ハガキまたは封書に参加者全員の氏名・年齢・性別・〒住所・電話番号をご記入の上、送付先住所までご郵送下さい。※5名以上の場合は封書で、同じご住所の方が複数申込の場合はまとめて一通で。参加者には後日詳細をお送りします。

【送付先住所】〒105-7444 港区1-6-1日本テレビ内24時間テレビ事務局「荒川クリーンエイドアクション」担当

【お問合せ】03-6215-3008(平日10～18時)

【HP】<http://www.ntv.co.jp/24h/> ※今後の地震の状況により中止する場合がございます。詳しくは上記HPをご覧ください。

参加者募集！

身近な水環境の全国一斉調査

全国のさまざまな河川等で、同じ日の同じ時間に実施する水質調査に参加してみませんか。今年は、6月5日(日) 10:00を中心に実施します。参加を希望する方は、4/30までに当フォーラム事務局にお申込みください。

荒川クリーンエイドアクション2010



ご支援ありがとうございました！

以下のご支援をいただきました。頂戴した寄付を責任を持って荒川の自然回復に役立てる次第です。

●グリーン家電エコポイント

東日本大震災被災者の皆さまへの
寄付をお願いします

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、クリーンエイド実施会場において被災地への募金活動をお願いしてきたいと思います。荒川クリーンエイドに参加された際にはご協力よろしく願いいたします。また、その他にも当フォーラムとして、現地の皆さまが元気になられ、さらに長い目で災害にあわれた地域の森・川・海が再生する活動を少しでも支援できればと考えます。

荒川クリーンエイド2011ニュース No.1

2011年4月11日発行

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

TEL 03-3654-7240 FAX 03-3654-7256

<http://www.cleanaid.jp/> Eメール renraku@cleanaid.jp